

令和元年度
「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」
のまとめ



令和2年3月

目 次

令和元年度「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」

○ 「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」実施要項	1
○ 令和元年度「地区拡大家庭教育推進協議会」の概要	2
○ 尾 張 地 区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	3
○ 海 部 地 区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	5
○ 知 多 地 区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	7
○ 西 三 河 地 区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	9
○ 東 三 河 地 区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	11
○ 新城設楽地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	13
○ 令和元年度 優良家庭教育推進組織等一覧	15



「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」実施要項

1 趣 旨

家庭教育支援に関わる者及び行政関係者（以下「家庭教育関係者」という。）の市町村を超えた情報交換を通して、家庭教育関係者の資質向上を図るとともに、優れた活動を推進している組織等を顕彰することにより、地域におけるきめ細かな家庭教育支援活動を充実させる。

2 事業内容

(1) 地区家庭教育推進協議会の設置

ア 目的

家庭教育関係者による市町村を超えた情報交換や、地域におけるきめ細かな教育支援の方策について検討をすることで、地域での家庭教育支援活動の具体的な推進に資する。

イ 設置場所

尾張、海部、知多、西三河、東三河、新城設楽の6地区を所管する各教育事務所・支所に設置する。

ウ 所掌事項

生涯学習課の指導、助言のもと次の事項を行う。

(ア) 各市町村の家庭教育の現状及び支援活動に関わる情報交換や協議

(イ) 地域におけるきめ細かな家庭教育支援の具体的・実践的な方策の検討

エ 委員

市町村の家庭教育支援に関わる行政関係者、子育てネットワーカー等の子育て支援者、あるいは子育てサークル代表者を含む家庭教育関係者をもって構成する。

オ 内容

(ア) 年3回程程度の協議会を開催する。

(イ) 上記の内1回は、委員のみならず地域の家庭教育関係者への参加を促した拡大地区家庭教育推進協議会とし、家庭教育に関わるテーマを基にしたグループワークによる情報交換を実施する。

※ 実施にあたっては、市町村や地域の家庭教育推進事業の実践の紹介を含めるなど、地域の特性や実情に応じて内容を工夫する。

カ 庶務

各教育事務所・支所において処理する。

(2) 優良家庭教育推進組織等の顕彰

ア 目的

地域においてきめ細かな家庭教育支援活動を継続して実施し、成果を上げている組織等を顕彰することで、家庭教育振興に関わる地域活動の一層の充実・拡大を図る。

イ その他

顕彰の詳細については、「優良家庭教育推進組織等顕彰事業実施要項」に基づく。

(3) 「『地域に根ざした家庭教育支援推進事業』のまとめ」の作成

今後の活動の参考とするため、地区家庭教育推進協議会の協議内容や優良家庭教育推進組織等の顕彰の記録を集録し、事業のまとめとする。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から適用する。

令和元年度 地区拡大家庭教育推進協議会の概要

地区	日時・会場	概 要	グループ協議テーマ	参加者数
尾張	8月29日(木) 13:00~15:45 三の丸庁舎	開会行事、表彰及び活動発表(1時間) ＜優良家庭教育推進組織＞ 扶桑町立扶桑北中学校PTA 実践活動発表(20分) 小牧市 グループ協議、情報交換(1時間40分) ・10グループ 閉会行事	①子育てネットワークの取組について ②産前産後の親向けの取組について ③子育て支援や施設 ④その他の取組について	56名
海部	11月20日(水) 14:00~16:30 弥富市総合社会教育センター	開会行事、表彰(20分) ＜優良家庭教育推進組織＞ 佐古木文化財保存会(弥富市) 優良家庭教育推進組織事例発表(20分) グループ協議、情報交換(55分) ・4グループ 閉会行事	①参加したくなるような親の学び場づくり ②地域における家庭教育支援活動	49名
知多	11月16日(土) 13:20~15:30 南知多町総合体育館	開会行事、表彰(20分) ＜優良家庭教育推進組織＞ グループ想(知多市) 青少年を育てる会師崎支部(南知多町) グループ協議、情報交換(1時間40分) ・4分科会会場にて実施 ・ワールドカフェ方式 ・分科会ごとにまとめを行い、閉会 ※「子育て支援交流会」の名称で開催	①子育てを楽しむための〇ケ条～イライラしない子育てを目指そう～ ②Help me!!ジジ・ババ・パパの出番です！～一人で悩まない、抱え込まないために～ ③晴れ時々「学校(幼稚園)行かない」～不登校や登校しぶりについて話そう～ ④やめられない とまらないネット遊び～上手に付き合うために伝えたいこと～	161名
西三河	9月4日(水) 14:00~16:30 西三河総合庁舎	開会行事、表彰(15分) ＜優良家庭教育推進組織等表彰＞ ・上地学区家庭教育推進協議会(岡崎市) ・つながりのわ 日進みらいの会(碧南市) ・幸田町子育てネットワーク(幸田町) 実践活動発表(30分) ・豊田市、西尾市 グループ協議、情報交換(1時間15分) ・10グループ 閉会行事	新時代に求められる家庭教育の在り方とは	64名
東三河	11月27日(水) 13:30~16:00 御津生涯学習会館	開会行事、表彰(20分) ＜優良家庭教育推進組織＞ 特定非営利活動法人「ゆう」(豊川市) グループ協議、情報交換(1時間40分) ・6グループ 閉会行事 ※「家庭教育を考える会」の名称で開催	身近で気軽に相談できる場所づくり	36名
新城・設楽	11月12日(火) 13:30~16:15 設楽町役場	開会行事、表彰及び活動発表(1時間20分) ＜優良家庭教育推進組織＞ 設楽町立津具中学校PTA グループ協議、情報交換(1時間20分) 閉会行事	①参加したくなるような親の学び場づくり ②地域における家庭教育支援活動	33名

合計 399名

令和元年度 優良家庭教育推進組織等一覧

地区	被表彰組織	実践活動テーマ	表彰日
尾張	扶桑町立扶桑北中学校 P T A (扶桑町)	学校支援を積極的に進める P T A 活動 ～生徒の健やかな成長を支える活動を通して～	8/29 (木)
海部	佐古木文化財保存会 (弥富市)	保護者や地域住民と連携しながら承継していく伝統芸能	11/20 (水)
知多	グループ想 (知多市)	多世代交流のある子どもの居場所作り	11/16 (土)
	青少年を育てる会師崎支部 (南知多町)	地域と家庭と学校が連携した温かい郷土づくりの推進	
西三河	上地学区家庭教育推進協議会 (岡崎市)	円満な家庭、明るい上地学区をつくろう	9/4 (水)
	つながりのわ 日進みらいの会 (碧南市)	元気と笑顔あふれる日進地区の実現	
	幸田町子育てネットワーク (幸田町)	乳幼児を持つ親が親と子のふれあいと子育ての知識を深められるよう、親子遊びや体験学習を開催し、情報交換・経験交流・仲間づくり等を推進し、ネットワークづくりを行う。	
東三河	特定非営利活動法人 ゆう (豊川市)	発達障害に関わる方たちも誰もが、ありのままに自分らしく過ごすことのできる街づくり	11/27 (水)
新城設楽	設楽町立津具中学校 P T A (設楽町)	家庭教育力の強化を図ろう ～家庭・学校・地域が連携した活動を通して～	11/12 (火)

尾張地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 日時 令和元年 8 月 29 日（木）午後 1 時 00 分～午後 3 時 45 分
- 2 会場 愛知県三の丸庁舎大会議室
- 3 参加者
 - ・協議会委員 17 名
 - ・協議会委員以外の参加者 39 名
（子育てネットワーカー5名、子育て支援団体7名、行政関係者27名） 合計 56 名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後 1 時 00 分～午後 1 時 15 分
優良家庭教育推進組織等顕彰（扶桑町立扶桑北中学校 P T A）
- 2 扶桑北中学校 P T A 活動紹介 午後 1 時 15 分～午後 1 時 30 分



生徒たちが豊かな心を持ち、健全に成長していく支援をするために、これからも、学校、家庭、地域が、確かな協力体制をもちながら活動を続けていきたいと思えます。



3 小牧市の家庭教育に関わる活動紹介【基調発表】

午後 1 時 35 分～午後 1 時 55 分

小牧市における子育て支援の取り組みについて
～妊娠期から子育て期にわたり
切れ目ない支援を目指して～



小牧市を代表して、「子育て世代包括支援センター」の職員に発表していただいた。市内の様々な関係機関が密に連携をとりながら、小牧市全体で子育て支援に取り組む様子がしっかり伝わり、参加者からも「参考にしたい」という声が多く聞かれた。



4 グループ協議・情報交換等 午後2時00分～午後3時40分

4分科会10グループの意見(抜粋)(②はグループ数)

子育てネットワークの取組②

- ・ネットワークにもっと活躍の場を。
 - ・18才までの支援システムはできているが、さらに広い世代をつなぎたい。
 - ・産後健診時の待ち時間に、市の子育て17条の説明をしている。
 - ・テーマを決めてネットワークの研究会を行っている。
 - ・県生涯学習課の養成講座を受け、「親子ふれあいひろば」を開催している。…等
- ネットワークの取組が地域に根付き、親等と信頼関係を築いていくことが大切



産前産後の親向けの取組②

- ・子育て支援機関の人員を増やしたい。
 - ・医療との連携が必要(産後うつ者の増加)
 - ・市内15の公民館を利用し、悩みを言えない人、居場所作りを行っている。
 - ・支援センターと生涯学習部局との連携が急務
 - ・赤ちゃん訪問やドアノッキング事業の実施
- 「民間だからできること」、「行政だからできること」それぞれを生かしながら連携していくことが大切



子育て支援や施設③

- ・子供だけで行けない場所が多い(要保護者)。
 - ・支援施設でのネットワークとのふれあいの場があるとよい。
 - ・支援センターも大切だが、親や子供たちが通いやすいアットホームな近所の施設が必要
 - ・スマホでの情報収集や便利グッズなど、子育ての環境が変わってきている。
 - ・施設を建てるだけでなく、移動子育て支援など、人(支援者)が積極的に外に出て行く。
- 包括された施設(センター)も良いが、地域施設との連携も必要。まとめるのか?分けるのか?ケースバイケースなので議論が必要

その他の取組③

- ・児童館を外部委託したメリットとして、各種学習スペースの設置やサービスの向上がある。
 - ・放課後子ども教室等、支援事業のスタッフ不足が喫緊の課題
 - ・子育て世代の地域事業への参画を。
 - ・生涯学習センター等で90講座行っている。
 - ・「親の学びワークショップ」を開催している。
 - ・小学生対象の「子ども大学」は人気があり定着している。…等 家庭教育事業は多くある。
- そもそも、「家庭教育」とは?現代社会での「家庭教育」の重要性を社会で考えたい。

グループ協議・情報交換での発言ワード

そもそも…
「連携」・「家庭教育とは?」

5 閉会行事

午後3時40分～午後3時45分

Ⅲ 課題や今後の取組について

前年度の反省を踏まえ、日程と内容を改善した。特に、グループ協議会については、より深まりのある話し合いを目指し、基調発表となる小牧市の発表内容に合った分科会テーマを設定した。グループ協議の前に、協議方法を具体的にスライドで示したことで、多くのグループでスムーズな話し合いができていた。アンケート結果からも、昨年よりも活発な協議がなされ、参加者の満足度の高さが伺われた。しかし、「テーマが広すぎてポイントがぼやけた話し合いになってしまった」等、一部の参加者から課題があがった。次年度は、「その他の取組」の分科会は設けず、より分科会のテーマを明瞭かつダイナミックなものにして深まりのある協議会にしたい。また、参加者数についても昨年度より減少しているので、多くの方に参加してもらえるような工夫をしていきたい。

海部地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 日時 令和元年11月20日（水）午後2時00分～午後4時30分
- 2 会場 弥富市総合社会教育センター
- 3 参加者
 - ・協議会委員 17名
 - ・協議会以外の参加者 32名（子育て関係団体7名、小中学校関係者10名、行政関係者15名） 合計49名

II 日程・内容

- 1 開会行事・表彰式 午後2時00分～午後2時20分



令和元年度優良家庭教育推進組織等表彰は、地域に伝わる無形文化遺産「佐古木神楽」の承継を通して、家庭における親子のつながりを深めている「佐古木文化財保存会」が受賞された。

- 2 事例発表 午後2時20分～午後2時40分



佐古木文化財保存会が、これまでの活動の様子をプレゼンテーションにて発表し、「すべては子供たちのために！」をスローガンとして、様々な活動を行っている様子が伝えられた。伝統芸能の継承活動を通じて「親子三世代のつながり」をイメージした神楽太鼓ばちづくりを行った様子や、特別養護老人ホームへの交流訪問や地元企業イベント出演を通して、地域と家庭とのつながりが深まった様子が紹介された。

3 グループ協議、情報交換会 午後2時50分～午後4時25分

＜テーマ＞ 「参加したくなるような親の学び場づくり」
「地域における家庭教育支援活動」



1 グループ

母親ができる防災について学ぶ場を設け、子育て中の母親だからこそ知ってほしい防災情報を伝えるようにしている。興味がない人にも伝えることが大切だと考え、子の健診を行っている会場に出向き、時間をいただいて活動をした。



2 グループ

子の4か月健診でブックスタート事業をしている。その際、本を渡すだけでなく、読み聞かせ会への勧誘を行ったり、健診会場でわらべ歌を楽しんでもらう場を設けたりすることにより、親同士の交流を深めるようにしている。



3 グループ

学びの場が、母親の息抜きの場になっていることも大切であり、横のつながりを持つことが、母親が互いに学ぶきっかけとなっている。SNS等で広報を行っているが、チラシの配布等、アナログな物の方が効果を感じることもある。



4 グループ

トイレトレーニングをテーマに交流会を設けた。すでに経験された保護者とこれからの保護者が同一グループになるようにグループ分けをすることにより、大変有意義な学びの場となった。

4 閉会行事

午後4時25分～午後4時30分

Ⅲ 課題や今後の取組について

事例発表は、事後アンケートによると、「親も学ぶ姿を子に見せることが、子の学ぶ力を育てることにつながるということが分かった」等の意見があり、それぞれの団体に活動の姿勢を示すことができたと言える。

グループによる情報交換は、「それぞれの地域で様々な形で子育て支援を行っていることを知ることができて勉強になった」等、各市町村の枠を超えた有意義な情報の共有ができた。次年度に向けて、テーマや参加者について今後、検討し、市町村が対応しやすいように努めていく。

知多地区「拡大家庭教育推進協議会」 子育て支援交流会

I 概要

- 1 日時 令和元年11月16日（土）午後1時20分～午後3時30分
- 2 会場 南知多町総合体育館
- 3 参加者
 - ・協議会委員 24名
 - ・協議会委員以外の参加者 137名
（家庭教育・子育て支援者7名、行政関係者1名、学校関係者14名、PTA等保護者115名） 合計161名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時20分～午後1時40分

地域の子育て・家庭教育を積極的に推進している団体へ、愛知県教育委員会より感謝状が贈呈されました。

- ◇ 知多市
「グループ想」様
- ◇ 南知多町
「青少年を育てる会師崎支部」様



【優良家庭教育推進組織の顕彰】

- 2 分科会 午後1時50分～午後3時30分

- (1) 分科会A テーマ「子育てを楽しむための〇ヶ条
～イライラしない子育てを目指そう～」



- ＜参加者の声（アンケートより抜粋）＞
- ・イライラ解消法を皆さんとシェアできてとてもよかったです。
 - ・自分と同じ思いや考え方の人もいると分かり、ほっとしました。
 - ・子育てや子供の成長を楽しもうと改めて思いました。

- (2) 分科会B テーマ「Help me!!ジジ・ババ・パパの出番です！
～一人で悩まない、抱え込まないために～」

- ・勉強できたことを報告して、少しでも多くの方が、幸せになれるようにしたいです。
- ・今日はテーマが話しやすく、会話が広がりました。
- ・若いお母さん、お父さんの意見を聞くことができよかったです。



(3) 分科会C テーマ「晴れ時々「学校（幼稚園）行かない
～不登校や登校しぶりについて話そう～」



- ・自分の子供がこうなったら、と真剣に考えることができました。
- ・自分の考えだけでは足りないですが、いろいろな人の話が聞けてよかったです。
- ・保護者と学校、地域との連携によって解決していくことが重要だと思いました。

(4) 分科会D テーマ「やめられない とまらないネット遊び
～上手に付き合うために伝えたいこと～」

- ・今後、子供とスマホの使い方を改めて話せたらいいと思います。
- ・子供に教えるためには、親が勉強して使い方を知ることが大事
- ・子供たちの世界で何か起こっているのか、親として制限するだけでなく、理解していく必要があります。



【話し合いの約束】



【ファシリテーターも奮闘】



【自由に思いを書き込む】

Ⅲ 成果と課題

事後アンケートによると、「さまざまな立場や地域の参加者と話げできたことが有意義だった」という内容の感想が最も多くみられた。市町の枠を超えて開催している意味を強く感じた。また、より多くの参加者と交流することを目的に、分科会でワールドカフェ方式(20分程度の話し合い→グループ替えを繰り返す)を取り入れて3年目となる。子育てネットワーカーであるファシリテーターをはじめ、運営側にとっても、参加者に寄り添った分科会となるように工夫を凝らしていく中で、自身の学びを感じることができた。

「もっと話し合いを深めたい」という参加者の意見が寄せられているため、今後は時間配分を見直していきたい。また、秋の行事が多い時期の開催となっているため、学校関係者やPTA等の負担とならない開催日時についても検討課題としていきたい。

西三河地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 日時 令和元年9月4日(水) 午後2時00分～午後4時30分
- 2 会場 愛知県西三河総合庁舎 大会議室
- 3 参加者
 - ・協議会委員 21人
 - ・協議会委員以外の参加者 43名(子育てネットワーク3人、子育て支援団体12名、民生児童委員3名、保護者14名、行政関係者6名、教員5名) 合計64名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後2時00分～午後2時10分

- ・主催者あいさつ
- ・優良家庭教育推進組織等顕彰

優良家庭教育推進組織の紹介

- ・上地学区家庭教育推進協議会(岡崎市)
- ・つながりのわ 日進みらいの会(碧南市)
- ・幸田町子育てネットワーク(幸田町)



【会長あいさつ】

- 2 実践活動発表 午後2時10分～午後2時40分

【実践発表】

- ・豊田市立土橋小学校PTA(豊田市)
「地域との関わりを深め、
地域ぐるみの教育の推進を目指して」
- ・東部地区明るくたくましい子を育てる会
(西尾市)
「豊かな心をもつ園児・児童・生徒の育成」



【実践活動発表】

【紙上発表】

- 岡崎市 「学校と地域で育てる福岡っ子—豊かな心を育てる地域ぐるみの家庭教育—」
- 碧南市 「へきなんファミリーサポートセンターの現況
～碧南市の家庭教育支援・子育て支援施策との連携を通して～」
- 刈谷市 「心豊かにいきいきと生きる子を育てよう」
- 安城市 「誰もが楽しく、つどい、つながり、学びあって健幸に」
- 知立市 「図書館があるように科学館を！」
- 高浜市 「得意なことを生かした家庭教育のボランティア」
- みよし市 「地域との連携を深め、ともに高め合う家庭教育の推進」
- 幸田町 「深めよう！ふこうずっ子の輪」

3 情報交換会 午後2時40分～午後4時15分

<テーマ>

「新時代に求められる家庭教育の在り方とは」

情報交換の手順

【セッション1】

1. テーブル移動・自己紹介 (5分)
2. 新時代に求められる家庭教育とはどのようなもの? (20分)
 - ・今ある問題とは
 - ・求められる家庭教育とは
3. そのために自分ができることはどのようなこと? (15分)
 - ・より具体的な事例

【セッション2】

1. テーブル移動・自己紹介 (5分)
2. 新時代に求められる家庭教育とはどのようなもの? (10分)
3. そのために自分ができることはどのようなこと? (10分)

【セッション3】

1. セッション1のテーブルへ移動
2. 今後、自分はこういうことをしていきたいと宣言! (20分)

【セッション4】

1. 最初の座席へ移動
2. シェアリング 今後、自分はこういうことをしていきたい (15分)



【情報交換会】

参加者の意見から

- ・子供ファーストで子育てしたい。家庭教育の答えはない。子育てや地域活動などを充実させるには大人が変わらないといけない。でも大人はすぐに変えることができない。
- ・地域の交流を深めるには、場の提供と地域のリーダー的存在が必要だと感じた。
- ・親の考えは様々なので、家庭教育に直接アタックするのは難しい。地域が家庭をどう巻き込んでいくかが大切。
- ・それぞれの組織が小さなことでもふれあう場を設定していく。
- ・問題解決の糸口はなかなか見つけられないが、最終的には自分自身が甘えず流されず、しっかりと家庭教育を意識しなければならない。

4 閉会行事 午後4時15分～午後4時30分

Ⅲ 課題や今後の取組について (参加者アンケートより抜粋)

1 西三河地区拡大家庭教育推進協議会の意義

- ・地域、立場の違う方と情報交換でき、よい経験ができた。スマホの使い方や子供との接しなどについて、先生等いろいろな方から意見が聞けてよかった。
- ・他の市町の活動の仕方が聞けた。地域の特色を生かした活動をされており学びが多かった。
- ・学校と地区のつながりは、行政主体ではなく、地区の「心」がある人物によって成り立っているのが問題かもしれない。行政がもう一步踏み出す状況を作らなければならない。

2 来年度へ向けての提案

- ・発表テーマが漠然としすぎているので、もう少し絞った方がよい。
- ・学校関係の方の新しい子育て観の話はもっと聞きたい。
- ・テーマについて話し合う時間が短かったので、ゆっくり話が聞けるようにもう少し時間があるとよかった。

東三河地区「拡大家庭教育推進協議会」 家庭教育を考える会

I 概要

- 1 日時 令和元年11月27日（水）午後1時30分から午後4時まで
- 2 会場 御津生涯学習会館
- 3 参加者
 - ・協議会委員 15名
 - ・協議会委員以外の参加者 21名（教育行政関係者9名、子育てボランティア4名、保育園関係者4名、小中学校PTA2名、公民館関係者2名） 合計36名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分から午後1時50分まで
優良家庭教育推進組織等顕彰
特定非営利活動法人 ゆう（豊川市）



障害のある子の親の願いから2003年に設立し、各種の公的福祉事業を提供すると同時に、市民活動として福祉地域の中で障害特性を肯定的に受け止めありのままに過ごすための、家族や支援者に向けた活動を行っている。

- 2 講演 午後1時50分～午後2時5分
「身近で気軽に相談できる場所」の現状と問題点について
豊川市子育てネットワーカー 志村 貴子 氏



【昔の相談場所について話をされる志村さん】



【手遊びで会を和ませる志村さん】

3 グループ協議・全体会 午後2時10分から午後3時50分まで
 <テーマ>

「身近で気軽に相談できる場所づくり」



【Cグループの様子】

6グループに分かれ「グループ協議」を行いました。まずは、自己紹介をかねてアイスブレイクで、リラックスできる雰囲気！



【Fグループの様子】

グループ協議における意見

Aグループ
 ・情報の提供をツイッターやブログで発信
 ・“相談”という言葉を変える。

Bグループ
 ・豊橋は11月からAIが相談にのるシステムがある。
 ・講座や広場、児童館などに出向いて顔見知り。

Cグループ
 ・子育て支援の「支援」という言葉が重い。
 ・情報提供者と受け手側の感じ方のギャップが大きい。

Dグループ
 ・相談者にとっては、このくらいのことを相談していいのだろうかと思うこともある。

Eグループ
 ・今ある場所が身近に相談できる場となるとよい。

Fグループ
 ・母親が子供に引っ張られるような場所を作る。



【全体会の様子】

グループ協議終了後、全体会でグループごとに意見交流された内容を共有しました。

【参加者の声】
 各地での相談場所がたくさんあることを知りました。子供に関する相談や子育てしている親が悩んでも気軽に相談できる場をもっと知ってもらいストレスなどをためないように改善していけたらいいなと思いました。
 とてもよい協議で小さい子を持つ私にとっては参考になりました。

4 閉会行事 午後3時50分から午後4時まで

Ⅲ 課題や今後の取組について

今回は、グループ協議（情報交換）の前に、協議を充実させるために子育てネットワークの志村さんにテーマについての講演を行っていただいた。運営委員からは、「話題がぶれずに話し合いが進んだ」との声が多く、協議が深まった印象を受けた。

参加者の選定が難しかった市もあり、参加者の中には、家庭教育の分野に詳しくないため、協議に十分に関われない方もいたようである。今後、「来てよかった」と思えるように内容を工夫していく必要がある。

新城設楽地区「拡大家庭教育推進協議会」 地域で子どもを育むための交流会

I 概要

- 1 日時 令和元年11月12日（火）午後1時30分～午後4時15分
- 2 会場 設楽町役場 議場
- 3 参加者
 - ・協議会委員 9名
 - ・協議会以外の参加者 24名（行政関係3名、PTA関係5名、学校関係6名、子育てネットワーク2名、家庭教育・子育て支援関係88名） 合計33名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分～午後1時55分
優良家庭教育推進組織等顕彰



【表彰の様子】

設楽町立津具中学校PTAは、生徒数21名、家庭数18戸の小規模校です。人間性豊かな生徒を育てるため、家庭教育力の向上を願い、地域の諸団体や学校と連携しつつ、地域や学校の諸活動へ主体的、積極的に取り組まれています。

- 2 実践活動発表 午後2時00分～午後2時30分

津具中学校PTAは次のような活動を実践しています。

- (1) 親子で環境美化活動を行い、地域の美化に貢献するとともにふるさと津具への愛着を一層強める。
- (2) 部活動参観を行い、部活動の様子を知ることによって生徒の成長を支えていこうとする思いを醸成する。
- (3) 親子調理教室を開催し、健康な食生活を推進し、親子のふれあいを深める。
- (4) 学校保健委員会の取組に協力し、健康な生活が送れるようにする。
- (5) 体育大会に参加し、共に楽しみ、地域を盛り上げる。
- (6) 合唱発表会に参加し、共に楽しみ、地域に感謝の思いを伝える。
- (7) 地区家庭教育推進協議会の活動に参加し、家族のふれあいを深める。等の活動を実践しています。



【実践活動発表の様子】

3 グループ協議、情報交換会 午後2時50分～午後4時25分

<テーマ>

「参加したくなるような親の学び場づくり」
「地域における家庭教育支援活動」



【グループワークの様子】



【グループワークの報告】

参加者の意見から

グループ①

子育てと同時に親育ても重要なのではないかと。親育ても直接的に働きかけると抵抗があるので、子供の活動と一緒に参加してもらう中に、交流の場を設けて、親同士のつながりを作りながら、悩みを解決していくような取り組みを考えてはどうか。

グループ②

時代に合った支援の場の内容を考えてはどうか。子育てする親と子育て支援者が、共に得意分野を生かして互いに学び合う子育て支援の場、例えば、若い親からスマホアプリの使い方を、支援者から子供のあやし方を教わるというような取組はどうか。

グループ③

地域コミュニティでのつながりが重要であると考えている。強力な地域コミュニティづくりをやっていくことで、親も子も一緒に参加し、親同士のつながりもできていく。昔ながらの学校を中心とした連帯感ある地域づくりに取り組んでいってはどうか。

グループ④

子供たちの電子メディアとの付き合い方が課題である。目的をしっかりと理解させた上で、電子メディアを使用しないノーメディアデーと家族と一緒にスポーツ観戦やゲームをするメディアデーを使い分けて、コミュニケーションの時間を確保してはどうか。

グループ⑤

会に参加するのは、意識の高い保護者という傾向があるので、参加者が得た情報や知識を SNS 等で拡散してもらうのはどうか。また、地域行事等への参加を面倒に感じる親もいるので、子供に情報を伝え、子供を動かすことで一緒に参加してもらってはどうか。

グループ⑥

共働きの親が増え、子育ては祖父母に任せている家庭も増えている。親、祖父母それぞれの立場に合った教育が必要ではないか。親同士の信頼関係も薄くなっているため、親同士の意見を交換する場を設けて関係を築き相談しやすい環境を整えてはどうか。

4 閉会行事 午後4時10分～午後4時15分

Ⅲ 課題や今後の取組について

子育てはもちろんであるが、親を育てることの必要性を感じさせる意見が多く見られた。行事や研修に参加しない親に必要な情報や知識を伝えるために、まず、親同士のつながりを築き、広めていく必要がある。その関係づくりの場・方法を考えていきたい。



令和元年度
「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」のまとめ
令和2年3月発行

愛知県教育委員会生涯学習課
〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 052-954-6780 (ダイヤルイン)
ファックス 052-954-6962